

快適に使用していただくために

取扱説明書

グランシャイン
大型伸縮門扉

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	3
3.使用方法	7
3-1 錠の操作方法	7
3-2 落し棒の操作方法	7
3-3 施錠・解錠方法	8
3-4 回転収納部の操作方法	9
3-5 落し棒受け清掃時の着脱方法	10
3-6 転倒防止金具の操作方法	10
3-7 南京錠による施錠	11
3-8 両開閉仕様の操作方法	11
3-9 直線収納仕様の操作方法	12
3-10 センターレールの操作方法（オプション）	13
3-11 ご注意とお願い	13
4.お手入れについて	14
5.修理と保証	14

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

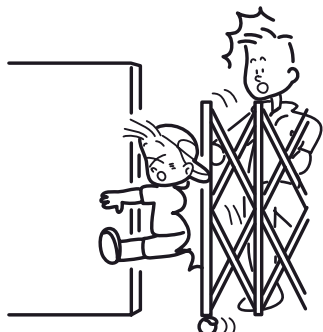
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれがある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

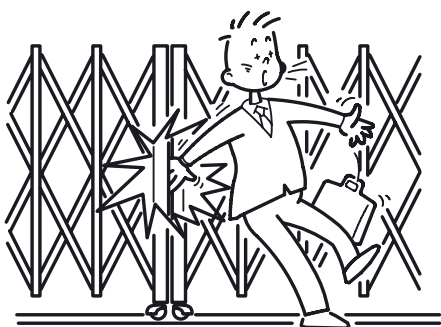
1 安全のために必ず守ってください

警告



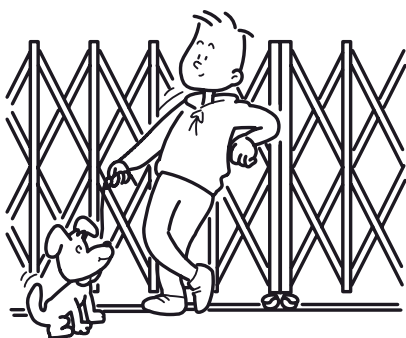
- 開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。
特に、お子様の飛び出しなどに注意してください
- ・扉に挟まり、ケガをするおそれがあります。

警告



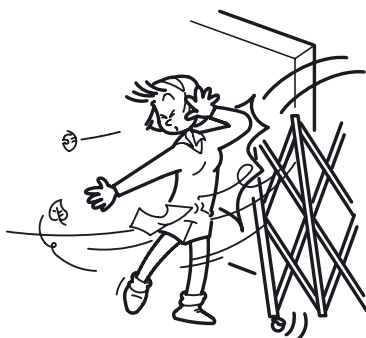
- 門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手足や衣服をはさまないように操作してください。特に小さなお子様には注意してください。
- ・扉に挟まり、ケガをするおそれがあります。

警告



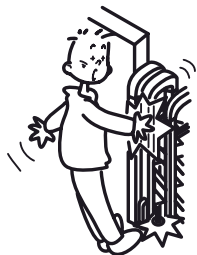
- 門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったり物をのせたりしないでください。
- ・門扉が破損、転倒してケガをするおそれがあります。

警告



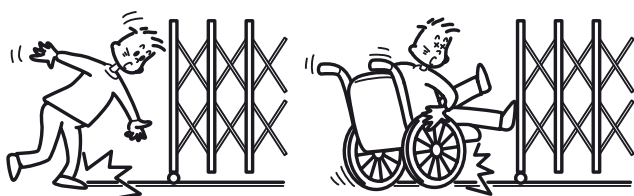
- 門扉を開いた状態、閉めた状態にしておくときは必ず落し棒をおとしてください。
(両開閉仕様の場合は、開いた状態のみ。)
- また、閉じた状態のときは必ず施錠してください。門扉を半開きの状態で使用または放置しないでください。
- 台風などの暴風時には門扉をたたみ、柱と門扉をロープなどで縛ってください。
- ・強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。

警告



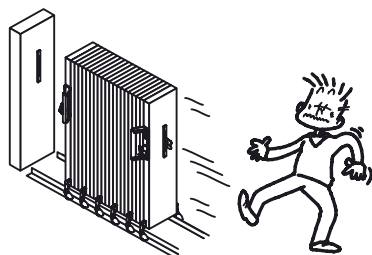
- 門扉の開閉の時は必ず落し棒を上げてから操作してください。
- ・ 門扉が破損し、破損した部材でケガをするおそれがあります。

警告



- レールを横切る時は、レールの段差を必ず確認してください。
- 車椅子でレールを通過する場合は、補助をする人がいることを確認してください。
- ・ 転倒しケガをするおそれがあります。

警告



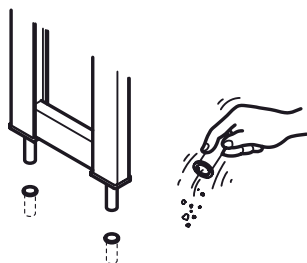
- 安全のため、両開閉仕様では必ず片側を施錠して使用してください。

注意



- お手入れで扉を拭き掃除するときには手袋等を着用してください。
- ・ パンタ部材で手指を切るおそれがあります。

注意

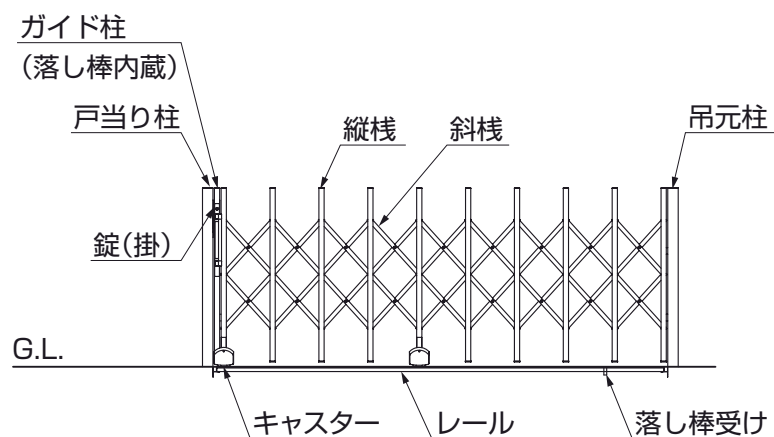


- 落し棒受けにゴミ・土・砂がたまらないように定期的に落し棒受けを外して掃除をしてください。
(「3-5 落し棒受け清掃時の着脱方法」参照)
- ・ 落し棒のかかりが浅いと強風で、扉が動き、門扉の破損または人に当たるおそれがあります。

2 各部の名称

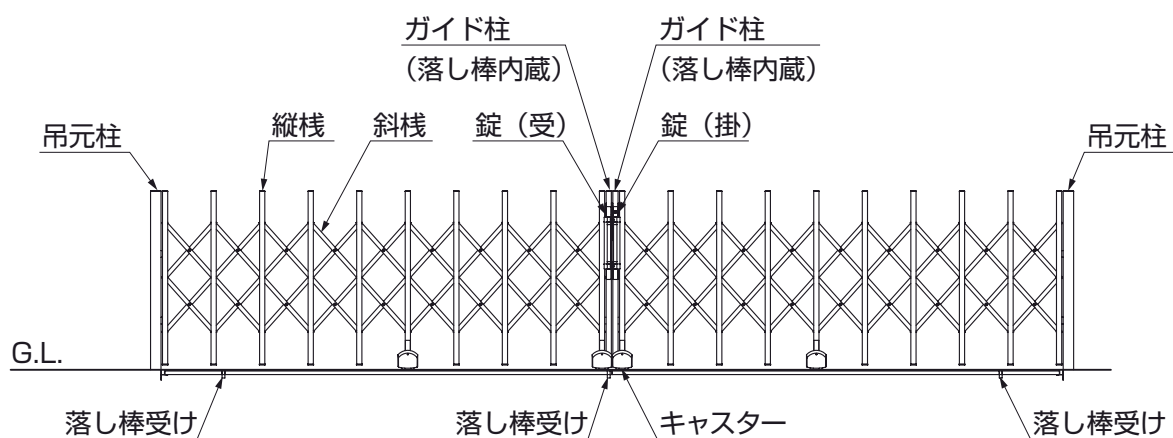
(1) 片開き

※図は外側から見たグランシャイン・フラットレールタイプを示します。



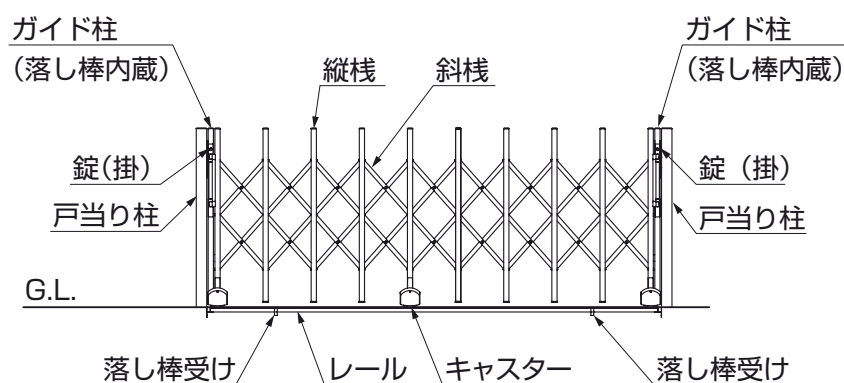
(2) 両開き

※図は外側から見たグランシャイン・フラットレールタイプを示します。



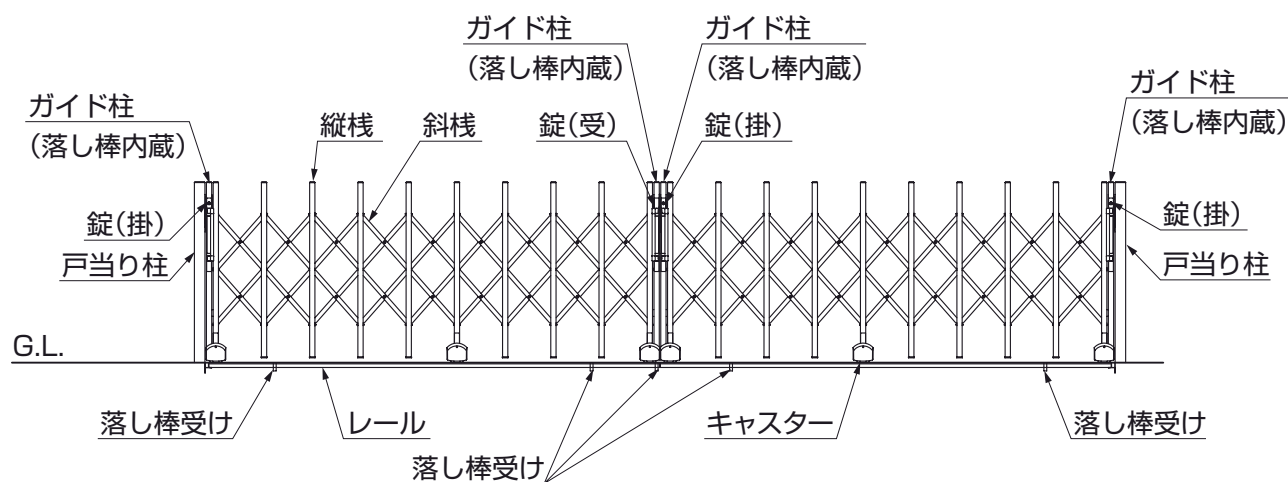
(3) 左右両開閉

※図は外側から見たグランシャイン・フラットレールタイプを示します。



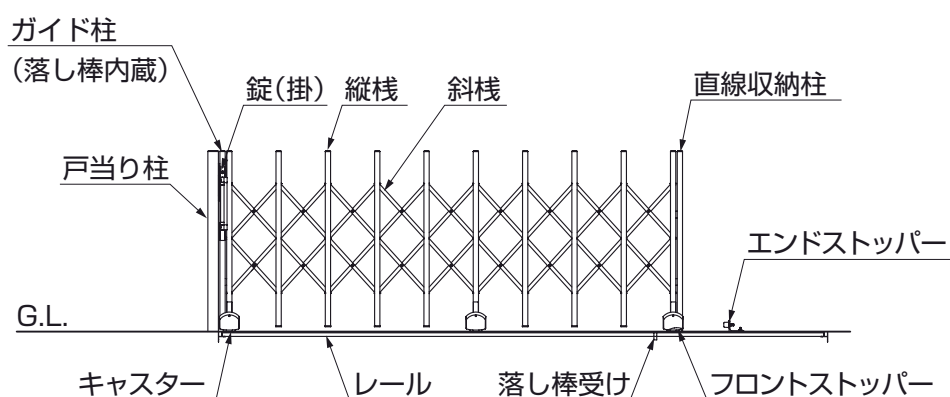
(4) 左右・中央両開閉

※図は外側から見たグランシャイン・フラットレールタイプを示します。



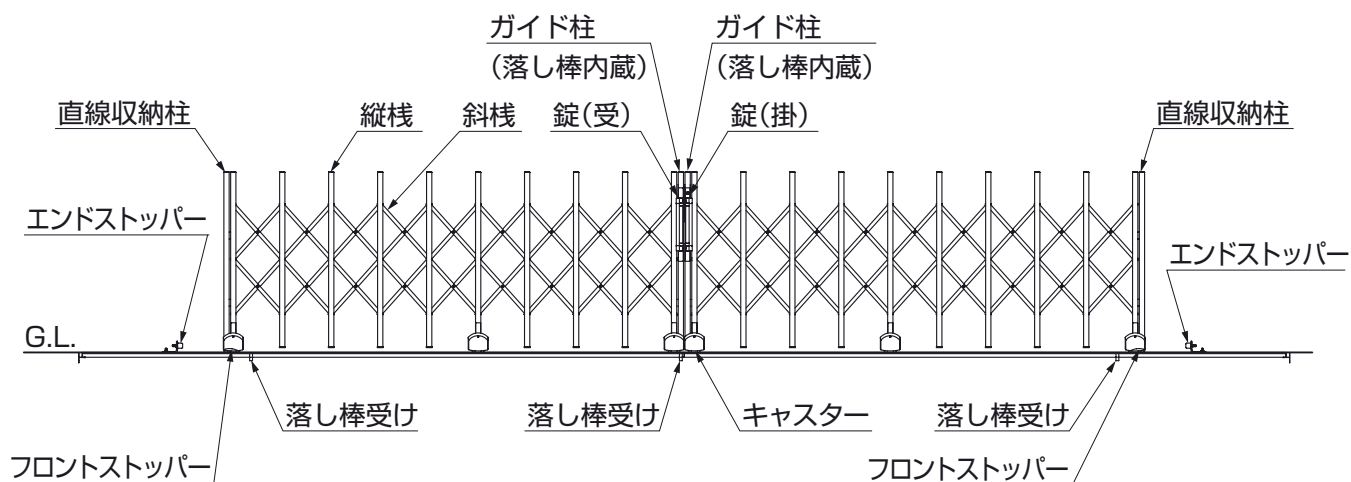
(5) 直線収納・片開き

※図は外側から見たグランシャイン・フラットレールタイプを示します。



(6) 直線収納・両開き

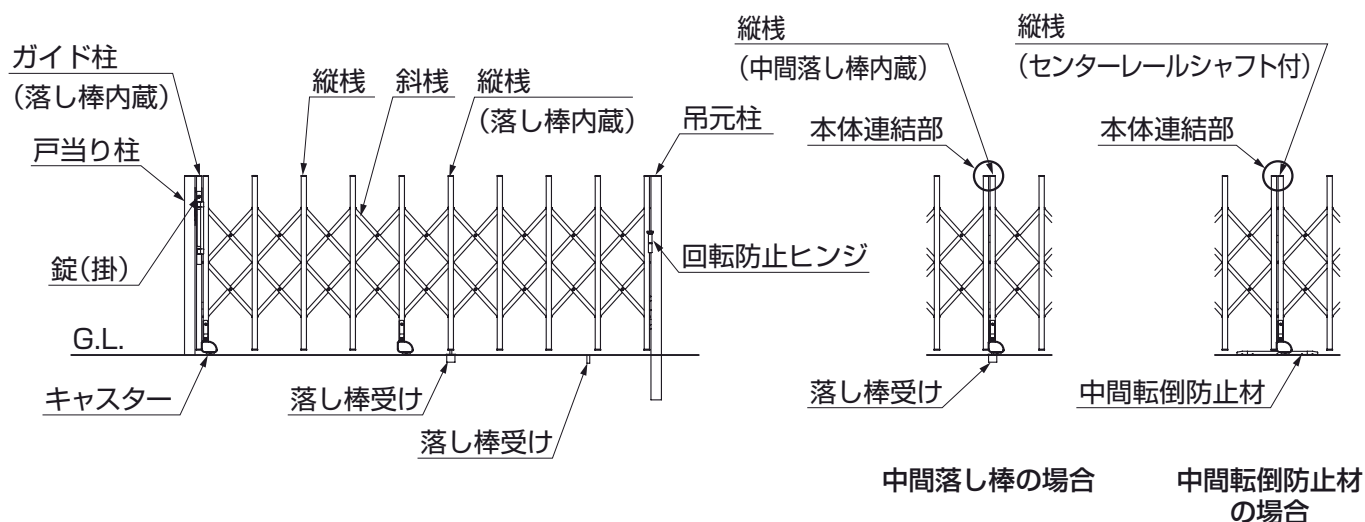
※図は外側から見たグランシャイン・フラットレールタイプを示します。



(7) 片開き

※図は外側から見たグランシャイン・キャスタータイプを示します。

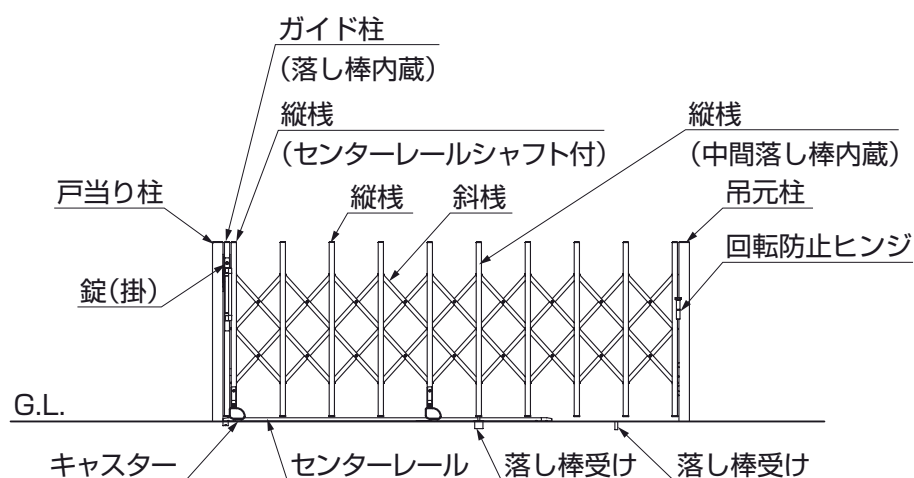
※本体連結部には、選択部材(中間落とし棒または中間転倒防止材)が必要となります。



(8) 片開き

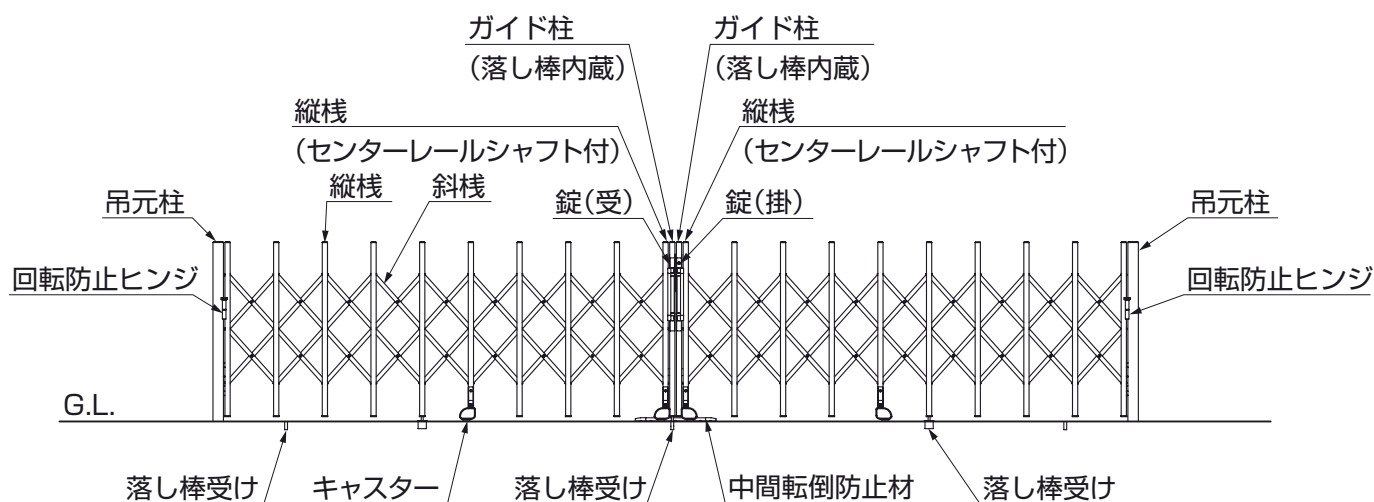
※図は外側から見たグランシャイン・キャスタータイプを示します。

※オプションのセンターレール仕様を示します。



(9) 両開き

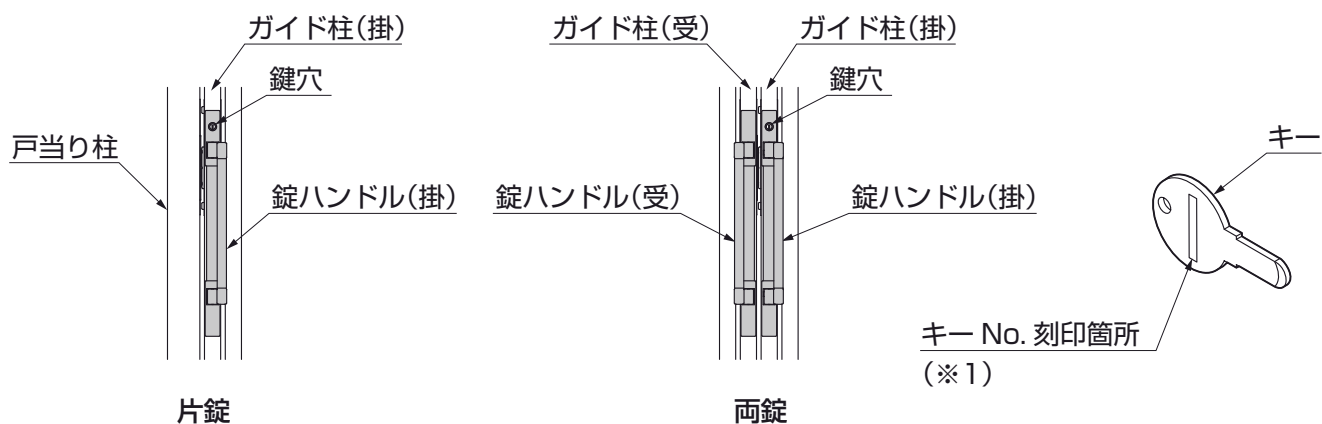
※図は外側から見たグランシャイン・キャスタータイプを示します。



(10) 錠

※図は外側から見た場合を示します。

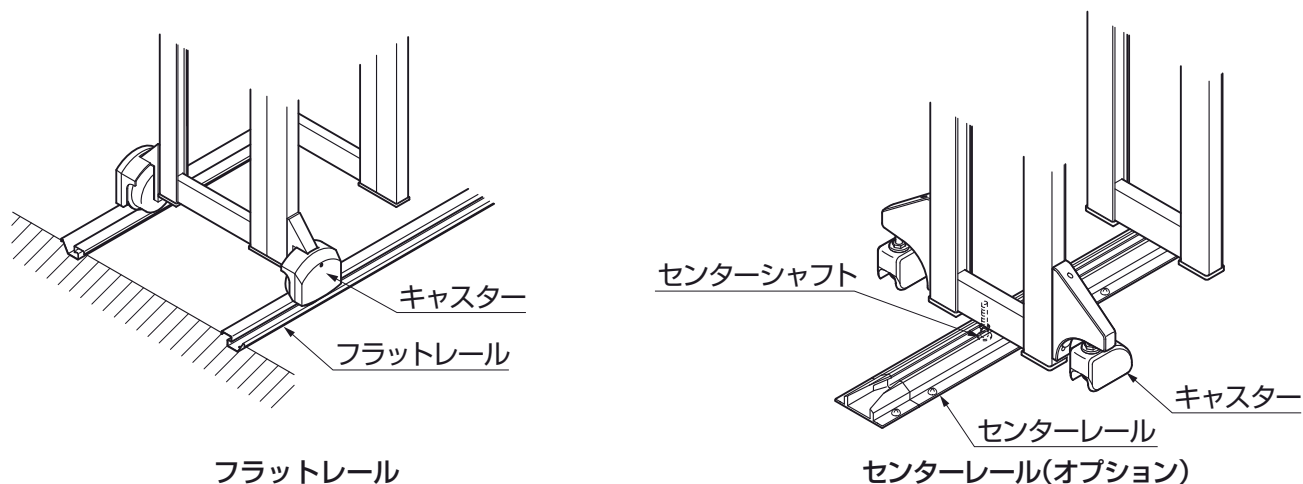
※左右の勝手が違う納まりもあります。



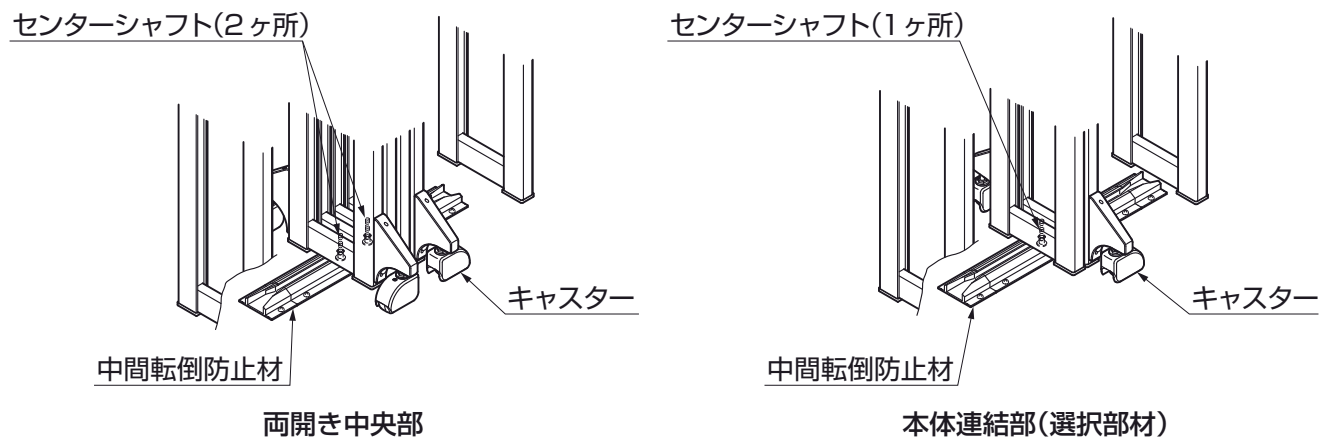
補足

- キー No.(※1)を「3-11 ご注意とお願い」の欄に控えてください。
- キー No.(※1)は、スペアキー追加・キー作製時に必要です。
- キー No.(※1)を控えずにキーを紛失した場合は、錠全体の交換になります。

(11) レール

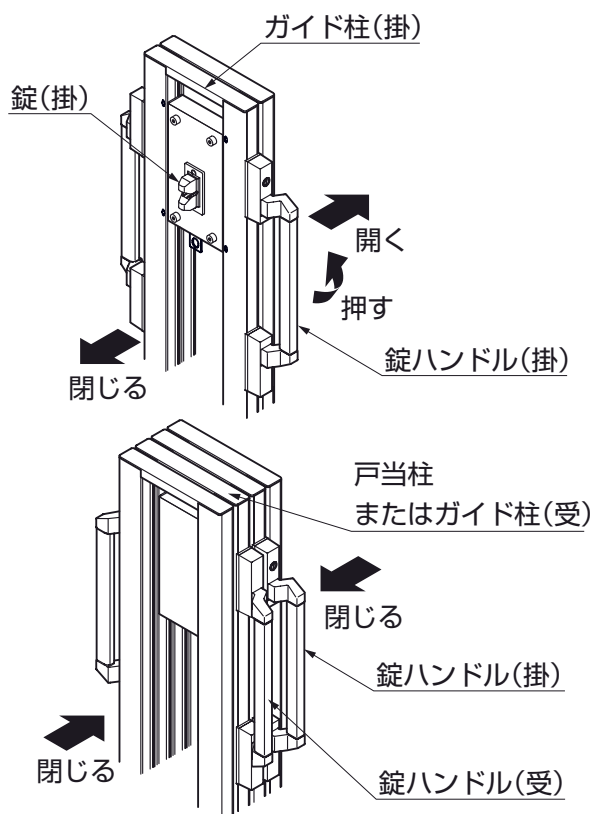


(12) 中間転倒防止材



3 使用方法

3-1 錠の操作方法



①解錠します。(「3-3 施錠・解錠方法」参照)

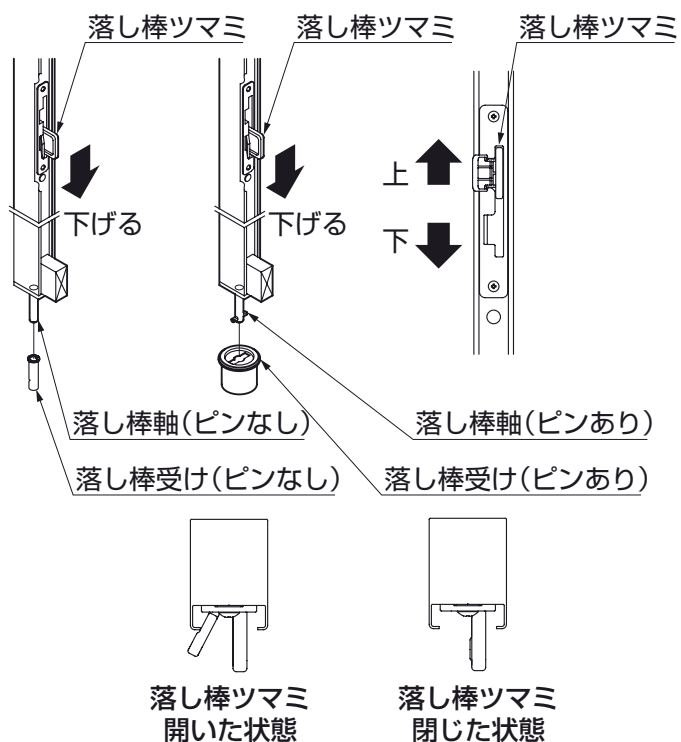
②ガイド柱の錠ハンドルを握って、開く方向に押しながら「開く」方向へ引きます。

③門扉を閉めるには、門扉を閉じて錠(掛)が戸当り柱またはガイド柱(受)の錠受けに納まるようにします。

補足

●キーで施錠しているときは、門扉の開閉はできません。(「3-3 施錠・解錠方法」参照)

3-2 落し棒の操作方法



①落し棒ツマミを手で閉じた状態にして落し棒ツマミが開く位置まで下げます。

②落し棒を上げるときは、①の内容を逆に操作します。

補足

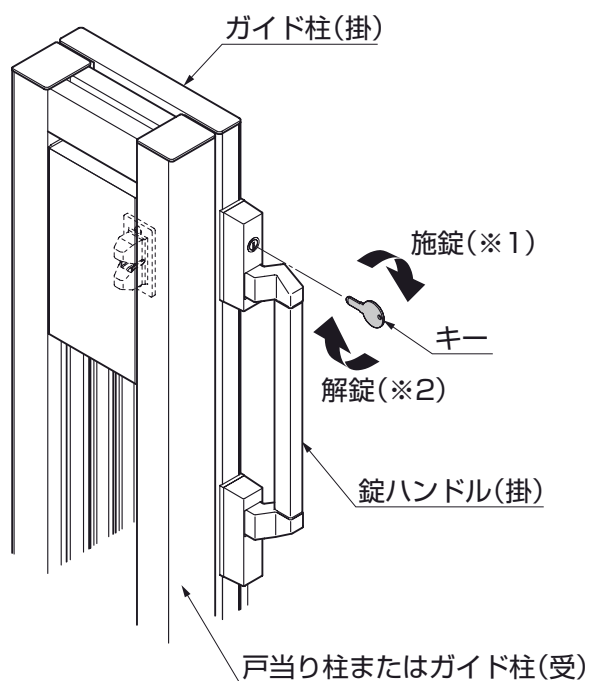
●門扉の開閉のときは、必ず落し棒を上げてから操作してください。

●門扉を固定するときは、落し棒が落し棒受けに入っていることを確認してください。

3-3 施錠・解錠方法

(1) 道路側

※図は右勝手の場合を示します。



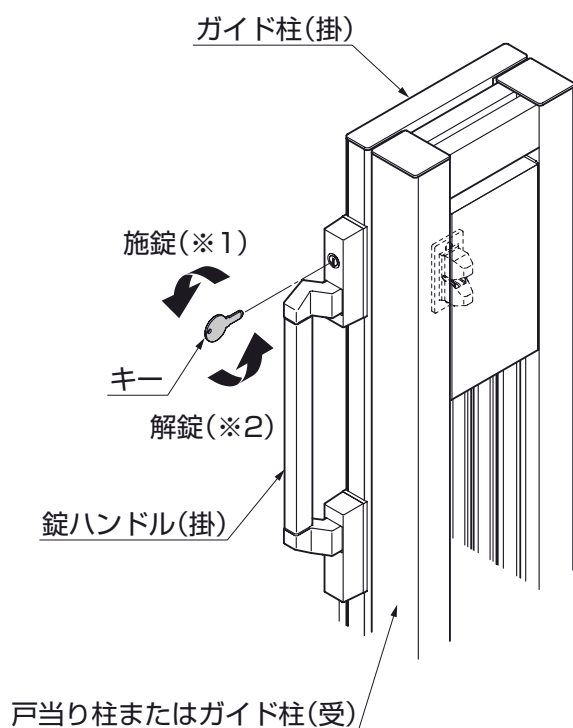
①キーで施錠・解錠するには、表 3-1 にしたがって操作します。

表3-1 キーの操作

	右勝手	左勝手
施錠(※1)	反時計回り	時計回り
解錠(※2)	時計回り	反時計回り

(2) 敷地側

※図は右勝手の場合を示します。

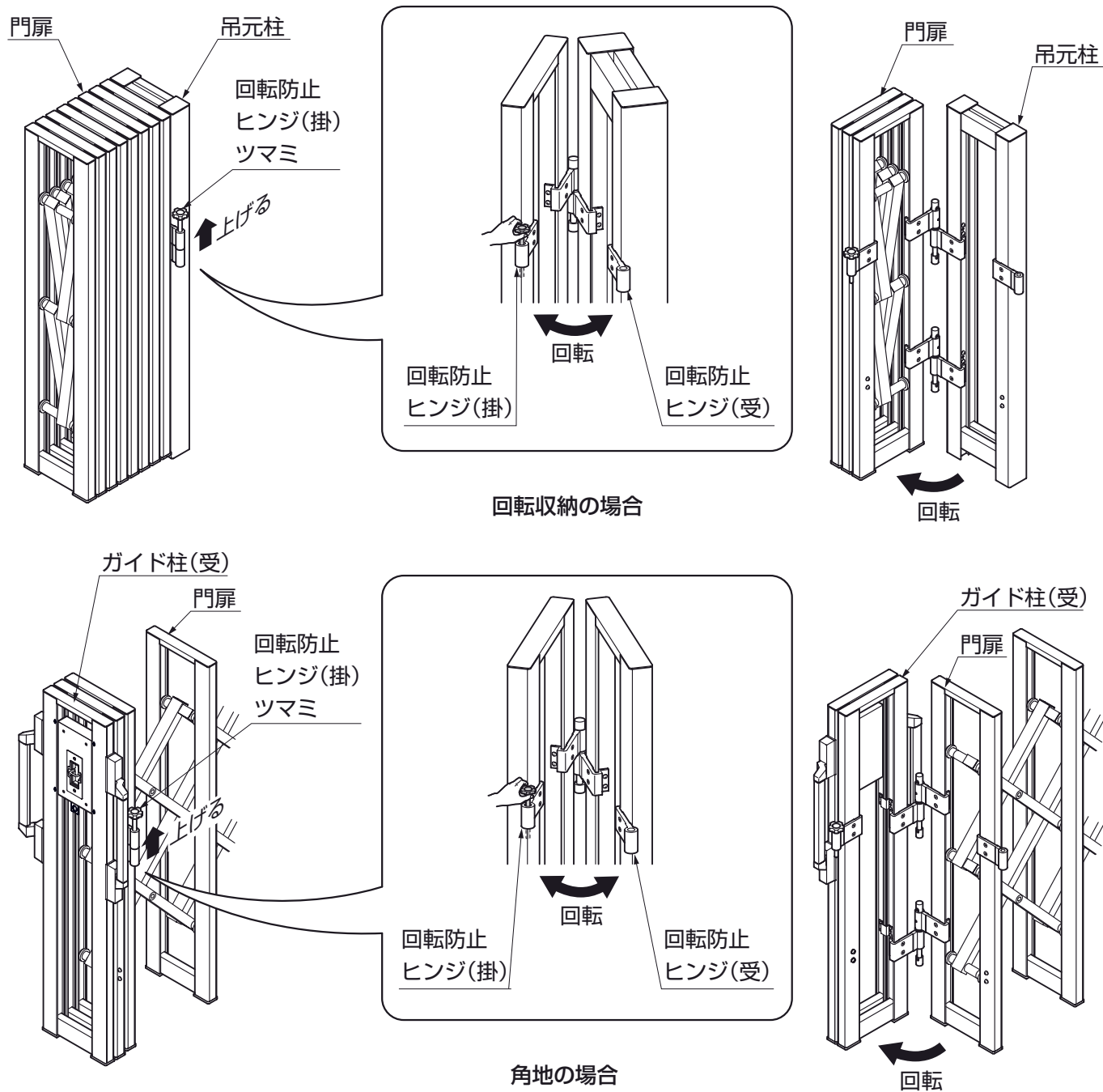


①キーで施錠・解錠するには、表 3-2 にしたがって操作します。

表3-2 キーの操作

	右勝手	左勝手
施錠(※1)	時計回り	反時計回り
解錠(※2)	反時計回り	時計回り

3-4 回転収納部の操作方法



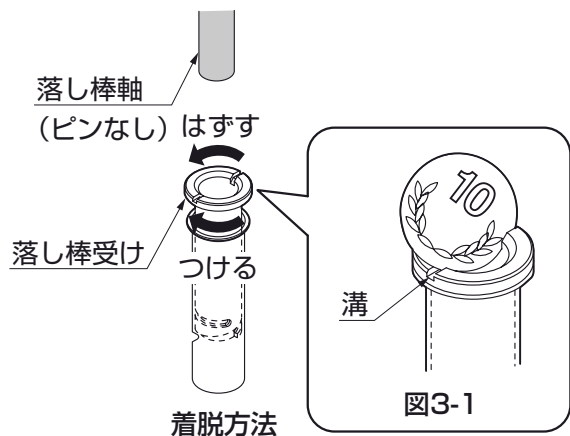
- ① 門扉を回転収納するときは、吊元柱に付いている回転防止ヒンジ(掛)ツマミを持ち上げ、回転防止ヒンジ(受)から軸を抜いて、そのままの状態で門扉を回転させます。
- ② 角地の場合も回転収納と同様に回転防止ヒンジ(掛)ツマミを持ち上げて、回転防止ヒンジ(受)から軸を抜いて、そのままの状態でガイド柱(受)を回転させます。
- ③ 元の位置に戻すときは、回転防止ヒンジ(掛)ツマミを持ち上げて、回転防止ヒンジ(受)に軸を差込みます。

お願い

- 門扉を回転収納したときは、必ず落し棒を下げて固定してください。
- 門扉を開閉するときは、必ず回転防止ヒンジ(受)に回転防止ヒンジ(掛)の軸を差込んで固定してください。破損や故障の原因となります。

3-5 落とし棒受け清掃時の着脱方法

(1) 落とし棒軸（ピンなし）

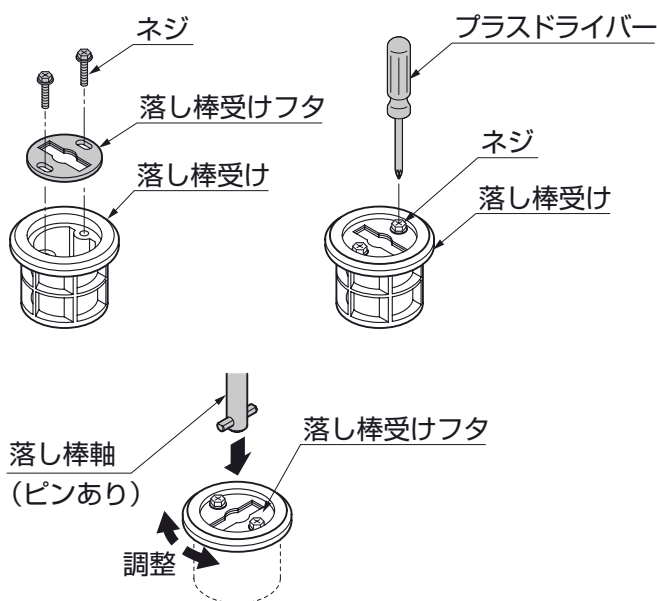


- ① 落とし棒受けを外すときは、左に回します。
- ② 落とし棒受けをつけるときは、右に回します。

補足

- 落とし棒受けの中にゴミ・土・砂がたまった場合、落とし棒受けを外して掃除ができます。
- コイン等を溝に引っ掛けて回すと、落とし棒受けの着脱を行ないやすくなります。(図 3-1 参照)

(2) 落とし棒軸（ピンあり）



補足

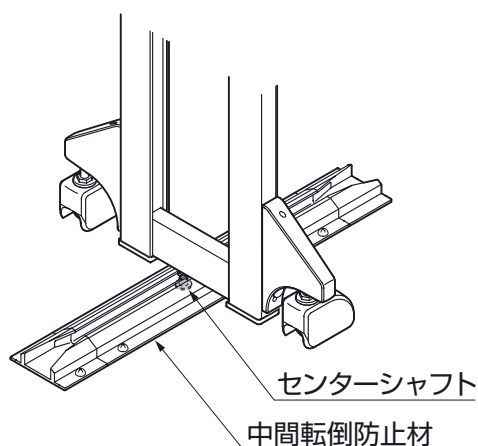
- 落とし棒受けの中にゴミ・土・砂がたまった場合、落とし棒受けフタを外して掃除ができます。

- ① 落とし棒受けフタを固定しているネジをプラスドライバーで取外します。
- ② 落とし棒受けフタを取付ける場合は、落とし棒が入る位置に落とし棒受けフタを調整してネジを固定します。

お願い

- 必ず落とし棒受けにネジを取付けた状態で掃除をしてください。ネジを取付けていないとネジ取付け穴にゴミが詰まってネジが取付けにくくなるおそれがあります。

3-6 転倒防止金具の操作方法

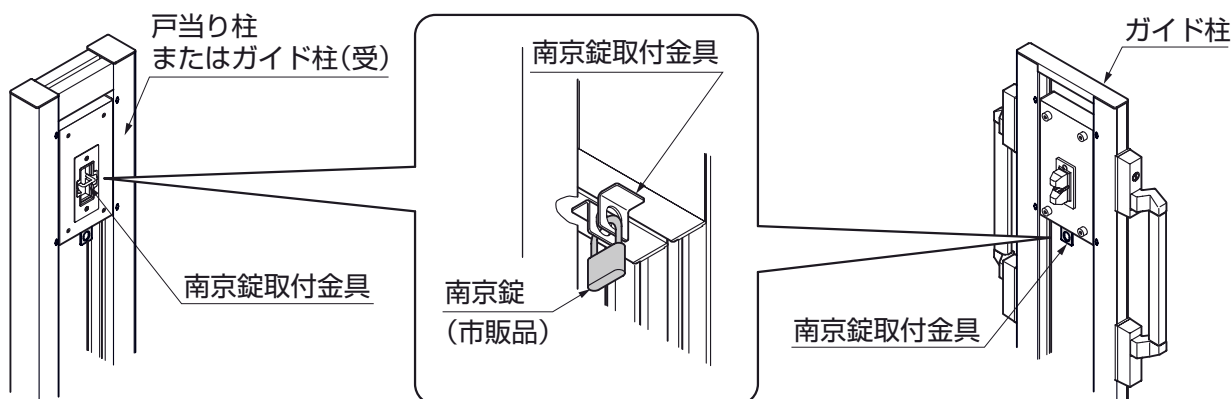


- ① 中間転倒防止材を使用するときは、センターシャフトを中間転倒防止材に納めます。

お願い

- 中間転倒防止材内にゴミ・土・砂・雪がたまらないように定期的に掃除をしてください。開閉不良の原因になります。

3-7 南京錠による施錠

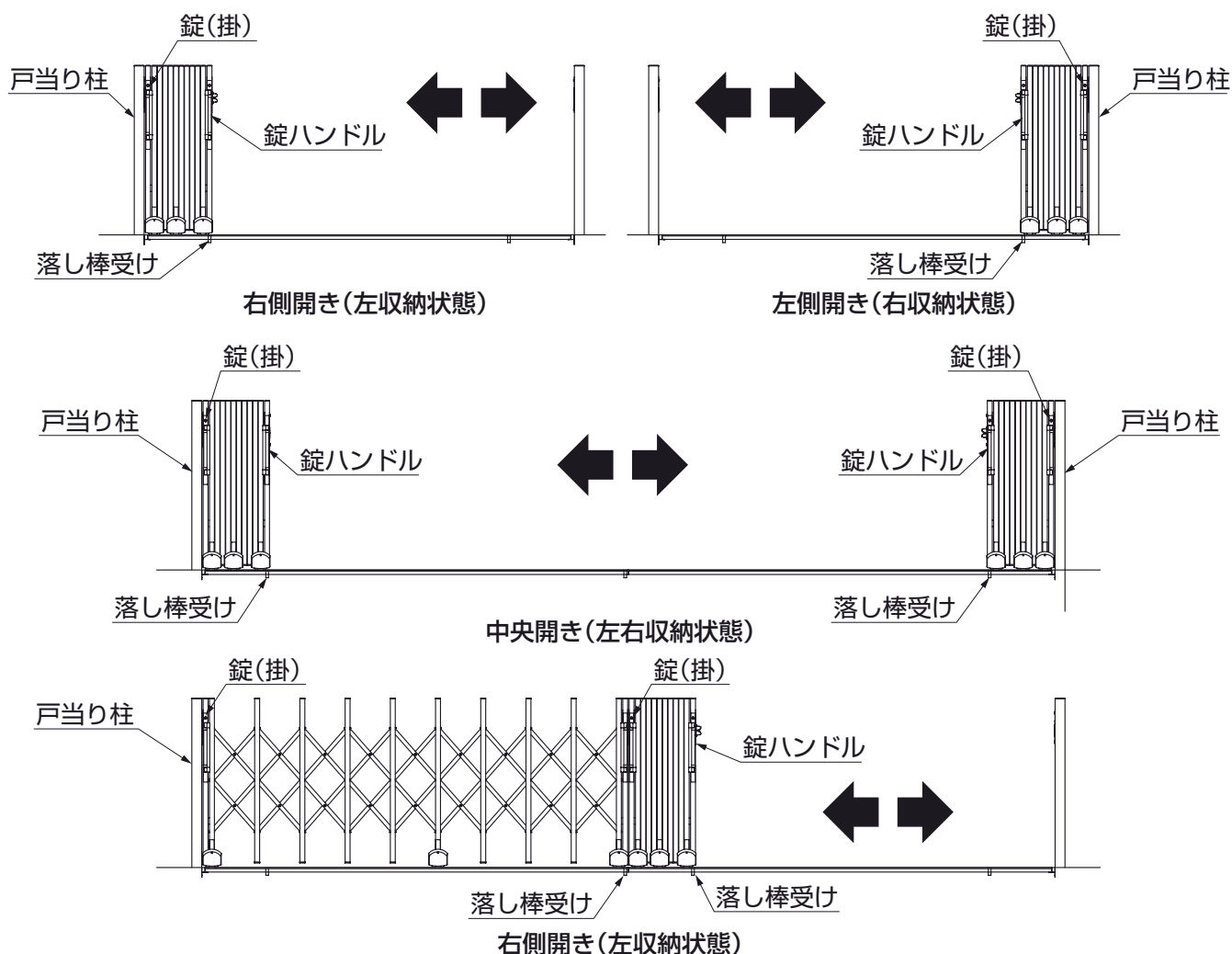


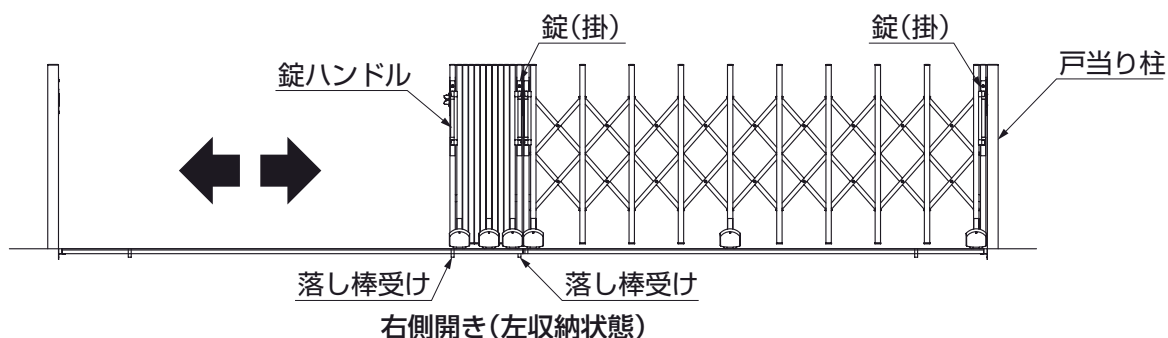
①戸当り柱およびガイド柱にあらかじめ取付いている南京錠取付金具に南京錠(市販品)を取付けることにより、施錠・解錠を行なえます。

補足

- 門扉キーによる施錠機能の他に南京錠による施錠も可能です。
- 南京錠は市販品をお買い求めください。

3-8 両開閉仕様の操作方法





- ①左右両開閉仕様の門扉は右側・左側どちらからでも、開閉することができます。開ける側の錠ハンドルを操作して扉を開閉します。
- ②左右・中央両開閉仕様の門扉は、右側・中央・左側どちらからでも開閉することができます。開ける側の錠を操作して扉を開閉します。

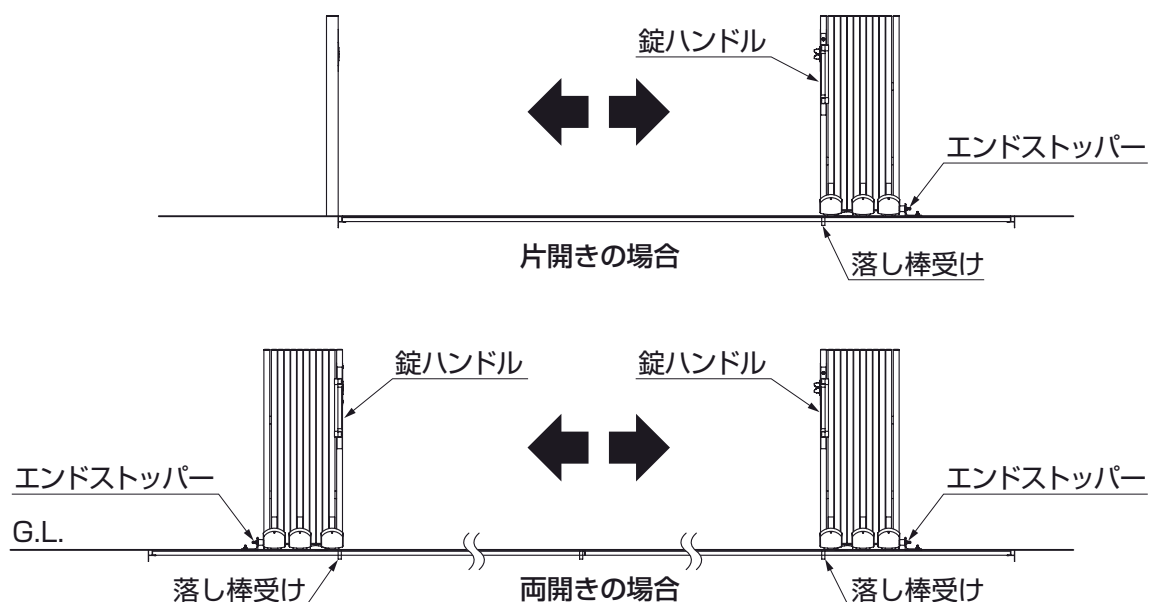
⚠ 警告

●門扉は、必ず開ける側以外の錠が戸当り柱、またはガイド柱(受)に納まった状態で操作してください。門扉両側の錠が外れた状態は、門扉が風などにより自走してしまうおそれがあり危険です。

お願い

●門扉を開くときは、必ず収納状態まで門扉をたたみ、落とし棒を落としてください。

3-9 直線収納仕様の操作方法



- ①直線収納仕様の門扉を開ける場合は、錠ハンドルを操作して門扉をエンドストッパーに押し当てて開けます。

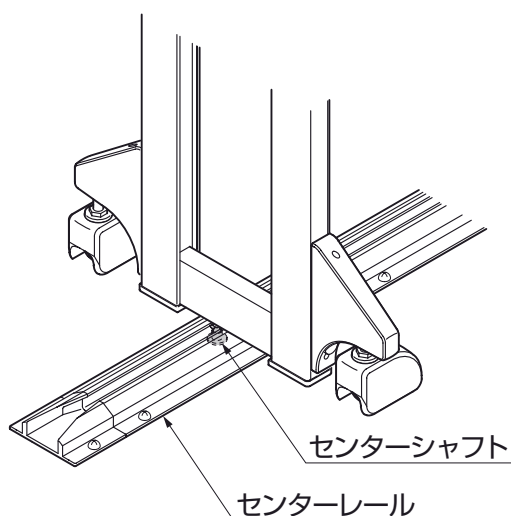
⚠ 警告

●門扉を開くときは、必ずエンドストッパー付近に人がいないことを確認して門扉を開閉してください。門扉に当たってケガをするおそれがあります

お願い

●門扉を開くときは、必ず収納状態まで門扉をたたみ、落とし棒を落としてください。

3-10 センターレールの操作方法（オプション）



- ①センターレールを使用するときは、センターシャフトをセンターレールに納めます。

お願い

- センターレール内に、ゴミ・土・砂・雪がたまらないように定期的に掃除をしてください。開閉不良の原因になります。

3-11 ご注意とお願い

⚠ 注意

- 部品に異常や不具合が生じた場合は、勝手な分解や調整をせずにお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。異常作動したり破損して危険です。

お願い

- キーなどの錠に関する部品の交換は、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- キーはメーカー純正のものをご使用ください。なお、キーの作製を行なうためにはキー No が必要です。
- キーに刻印している番号(英数字)をご使用前に下記に控えてください。

鍵番号		キーNo.刻印箇所 
-----	--	--

- 鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。錠がスムーズに動かない場合は、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤はホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- 錠が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさず、市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。
- 門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
- 降雪時は扉が積雪に干渉しない程度まで除雪してから使用してください。破損や故障の原因になります。
- レールタイプの場合、レール上・レール内にゴミ・土・砂・雪がたまらないように定期的に掃除をしてください。開閉不良の原因になります。
- スパイクタイヤ・タイヤチェーンを装着した車でセンターレールおよび中間転倒防止材上を通過しないでください。レールが変形・破損するおそれがあります。

4 お手入れについて

(1) 門扉に付いた汚れの取り方

①年に2～3回は水洗いをして拭きとってください。

- 汚れが軽い場合は水で濡らした柔らかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。

(2) キズの補修

①あやまって門扉にキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

5 修理と保証

(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）	1年	2年
電 装 部 品	無 料	有 料
電装部品以外	無 料	有 料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

グランシャイン 大型伸縮門扉 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 保証者**
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手に配にやらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹脂のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料いたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX. ☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧ください。

取説コード

UD106

JZZ620573C
201002A_1007
201603D_1047